

## 早期介入を目指したメンタルヘルスリテラシー教育 (精神保健福祉教育)のあり方に関するニーズ調査

🌸はじめに、貴校における生徒のこころの健康に関する取り組みについてうかがいます。🌸

問1 生徒のこころの健康に関する以下の点について、貴校ではどの程度対応すべき課題になっていますか。

	大きな課題である	ある程度課題である	あまり課題ではない
1) いじめについて	1	2	3
2) 不登校・ひきこもりについて	1	2	3
3) 児童虐待・家庭内暴力について	1	2	3
4) 生徒の思春期にともなう性の悩みについて	1	2	3
5) タバコ・アルコール・薬物等の乱用について	1	2	3
6) AD/HD(注意欠陥・多動性障害)・LD(学習障害)、その他の広汎性発達障害について	1	2	3
7) 摂食障害(拒食症・過食症)や過剰なダイエットについて	1	2	3
8) 神経症・ノイローゼについて	1	2	3
9) 気分障害(うつ病・そううつ病)・統合失調症について	1	2	3
10) リストカット・自傷・自殺について	1	2	3
11) すぐキレる生徒の存在	1	2	3
12) 学級崩壊	1	2	3
13) その他( )			

問2 前問のようなこころの健康に関する問題について、貴校ではどのように対応されていますか。以下の各項目について、当てはまるもの1つに印をつけて下さい。

	十分対応できている	ある程度対応できている	あまり対応できていない	課題がなく対応は不要
1) いじめについて	1	2	3	4
2) 不登校・ひきこもりについて	1	2	3	4
3) 児童虐待・家庭内暴力について	1	2	3	4
4) 生徒の思春期にともなう性の悩みについて	1	2	3	4
5) タバコ・アルコール・薬物等の乱用について	1	2	3	4
6) AD/HD(注意欠陥・多動性障害)・LD(学習障害)、その他の広汎性発達障害について	1	2	3	4
7) 摂食障害(拒食症・過食症)や過剰なダイエットについて	1	2	3	4
8) 神経症・ノイローゼについて	1	2	3	4
9) 気分障害(うつ病・そううつ病)・統合失調症について	1	2	3	4
10) リストカット・自傷・自殺について	1	2	3	4
11) すぐキレる生徒の存在	1	2	3	4
12) 学級崩壊	1	2	3	4
13) その他( )				

問3 貴校では、過去1年間に生徒や保護者のこころの健康の問題について、外部の医療機関や相談機関(専門機関)に相談や助言を求めたり、その生徒や保護者の受け入れをお願いしたことがありますか。ある場合は、どのくらいありましたか。

- 1) ない      2) 1回～2回ある      3) 3回～5回ある      4) 6回～10回ある      5) 11回以上ある

**問3で、「2)～5)」と答えた方にお尋ねいたします。**

付問1 相談・助言を求めたり、受け入れをお願いしたのは外部のどのような専門機関でしたか。当てはまるものすべてに 印をつけてください。

1) 学校以外の心理カウンセリング	6) 精神科病院
2) 児童相談所	7) 精神科のクリニック
3) 保健所および保健センター	8) 精神科以外の一般内科
4) 公設・私設の電話相談(いのちの電話など)	9) 教育相談所
5) 総合病院内の精神科	10) その他( )

付問2 その専門機関に、相談や受け入れをお願いした際に、学内の養護教諭やスクールカウンセラー(以下、SC)がどの程度関わっていましたか。当てはまるものに 印をつけてください。

1) SC または養護教諭がその生徒のこころの健康の問題にかかわり、専門機関への受け入れを依頼するとともに、その後も専門機関と連携をして援助を継続する
2) SC または養護教諭がその生徒のこころの健康の問題にかかわり、専門機関への受け入れを依頼して、その後の援助は専門機関に委ねる
3) SC または養護教諭がその生徒のこころの健康の問題が表面化した後に、専門機関への紹介を行い、その後は専門機関と連携して援助する
4) SC または養護教諭がその生徒のこころの問題が表面化した後に、専門機関への紹介を行い、その後の援助は専門機関に委ねる
5) SC または養護教諭がその生徒のこころの健康の問題に関わらなかった(他の教諭が対応)
6) その他( )

付問3 その専門機関に、相談や受け入れをお願いした際に、学内の養護教諭やスクールカウンセラー(以下、SC)はどちらが中心となって関わりましたか。当てはまるものに 印をつけてください。

1) SC が中心となって関わった	4) SC と養護教諭どちらも、あまり関わらなかった
2) 養護教諭が中心となって関わった	5) その他( )
3) SC と養護教諭が連携し、関わった	

問4 次に貴校では、過去1年に生徒の「こころの健康」に関する授業・取り組みを実施なさいましたか。実施した場合は、付問1～付問7にそのプログラムの内容をお答えください。

1) 実施した 付問1へ	2) 実施していない 付問8へ
--------------	-----------------

**問4で、「1)実施した」と答えた方にお尋ねします。**

付問1 授業・取り組みの実施対象を教えてください。当てはまるものすべてに 印をつけてください。

1) 全学年を対象としたカリキュラム	4) 保護者を対象としたプログラム
2) 特定学年を対象としたカリキュラム [a) 1年生対象 b) 2年生対象 c) 3年生対象 <u>該当するものに</u> ]	
3) 教員を対象としたプログラム	

付問2 生徒を対象としたカリキュラム(以下、カリキュラム)においては、どのような時間を使って実施していますか。当てはまるものすべてに 印をつけてください。

1) 総合的な学習	5) 集会・行事などの時間を利用して
2) 自由裁量の時間(ホームルームや学活)	6) 保健体育の時間
3) 道徳の時間	7) その他( )
4) 進路調整	

付問3 45分～50分の1の授業を「1時間」とみなし、1回のカリキュラムはどのぐらいの長さですか。当てはまるところに 印をつけてください。

1) 1時間(45分～50分)	2) 2時間	3) 3時間	4) 4時間	5) 5時間	6) その他
-----------------	--------	--------	--------	--------	--------

付問4 カリキュラムは年に何回実施していますか。

年に \_\_\_\_\_ 回

付問5 カリキュラムはどなたが担当なさっていますか。当てはまるものすべてに○印をつけてください。

1) 保健体育の教諭	4) 生徒会	7) 外部の組織
2) 各学級の担任	5) 養護教諭	8) その他( )
3) 学年主任	6) スクールカウンセラー	

付問6 カリキュラムはどのような形式で行っていますか。当てはまるものすべてに○印をつけてください。

1) 板書を中心とした通常の講義	6) 副読本などを利用した講義
2) スライドやビデオなど視聴覚機材を用いた講義	7) 外部からの講義
3) 精神障害の体験者・当事者やその家族による講演	8) 当てはまるものはない
4) 施設等の見学	9) その他( )
5) 生徒同士のディスカッションを取り入れた講義	

付問7 カリキュラムのテーマについて、当てはまるものすべてに \_\_\_\_\_ 印をつけてください。

1) いじめについて	6) 精神障害・知的障害への偏見に関する教育について
2) タバコ・アルコール・薬物等の乱用について	7) 生徒の思春期に伴う性の悩みについて
3) ストレスの対処法について	8) 神経症・ノイローゼ、摂食障害や過剰なダイエットについて
4) 気分障害(うつ病・そううつ病)・統合失調症などの精神障害の初期の症状や支援・治療について	9) その他( )
5) 自殺・自傷・リストカットについて	

**問4で、「2)実施していない1.ない」と答えた方にお尋ねします。**

付問8 実施していない理由について教えてください。当てはまるものすべてに \_\_\_\_\_ 印をつけてください。

1) 教育現場で、そうしたカリキュラムを実施するニーズを感じない	4) 実行に必要な資金がない
2) カリキュラムを実施する時間的余裕がない	5) 他の業務で手一杯で余裕がない
3) 専門のスタッフがない	6) その他( )

問5 以下の文章は、精神疾患の「早期介入」を促進する精神保健福祉教育プログラムに関する説明です。この文章を読んで以下の質問にお答えください。

近年、精神疾患に対する「**早期介入**」が世界的に注目され、学校や地域において積極的な取り組みが行われています。日本でもしだいに注目され、全国でいくつかの取り組みが行われています。

精神疾患への「**早期介入**」とは、精神疾患の前兆となる症状・注意サインがある方を早期に発見し、早期に介入することによって、深刻な精神疾患に発展することを防ぎ、本人・家族・周囲の人たちが、この問題に苦しむことをできるだけ少なくしようとする取り組みです。

精神疾患の発症は10代から20代前半が多いため、中学校や高等学校における「**早期介入**」の取り組みが重要です。深刻な悩みをかかえ、精神的な問題をもつ生徒に対して、**早期の注意サインのうちから適切な対応**が取れば、学校における多くの精神保健問題の解決につながる事が期待できます。



そのために、**生徒は**できるだけ早期に(中学1年等)精神疾患に関する正しい知識・情報を身につけるとともに、心に不調を感じたときには専門・相談機関の活用を知るなど適切な対処方法を、体験的に習得することが求められます。また**保護者や教師など生徒の周囲にいる人たちは**、病気の初期に見られる注意サインを知るなど、精神疾患についての体験的な基礎知識を身につけることが必要です。

付問1 貴校では、精神疾患の「早期介入」についてどれぐらい関心をお持ちですか。当てはまるものに1つに \_\_\_\_\_ 印をつけてください。

1) とても関心がある 2) ある程度関心がある 3) あまり関心がない 4) まったく関心がない

付問2 貴校では、生徒や保護者、教員を対象とする、「早期介入」を促進する精神保健福祉教育プログラムの必要性がどのくらいあるとお考えでしょうか。当てはまるものに1つに \_\_\_\_\_ 印をつけてください。

1) 大いに必要 2) ある程度必要 3) あまり必要がない 4) 必要がない 5) わからない

 現在私どもは、精神疾患の「早期介入」を旨とした精神保健福祉教育プログラムを、  
全国のいくつかの中学校で実施しています。 

問6 以下は、私たちが、これまで東京都清瀬市・八王子市、千葉県市川市、島根県松江市などで取り組んで来たプログラムの内容です。この文章を読み、以下の付問にお答えください。

### 生徒を対象としたプログラム

1年生を対象に、4～5時間(45-50分×4～5回)の授業を行います。

さらに2～3年生にも、その後、毎年1時間(45-50分)のフォローアップ授業を実施します。

#### [授業の内容]

- a) 精神疾患について理解し、ストレスとの関係を学ぶ授業
- b) 心に不調を感じたときの対応法や専門・相談機関の活用方法について学ぶ授業
- c) 希望者が神経科クリニック等の専門・相談機関を訪問、見学取材を行い、後にクラスで共有する
- d) 精神疾患の体験者による講演(中学時代の体験、専門・相談機関への相談経験の話など)
- e) 3年間のフォローアッププログラムを実施

### 保護者を対象としたプログラム

A) 年に1～2回の講演会・学習会などを行います。

- ・精神疾患(病気の初期に見られる注意サインなどを含む)についての専門家による講演
- ・子どもの心の健康に関するグループ学習
- ・中学時代に心の病気を経験した方のご家族による講演
- ・利用できる専門・相談機関の情報提供

### 教員を対象としたプログラム

B) 年に1～2回の講演会・学習会などを行います。

- ・精神疾患(病気の初期に見られる注意サインなどを含む)についての専門家による講演
- ・実例をもとにしたケース検討や相談会
- ・中学時代に心の病気を経験した方のご家族による講演
- ・利用できる専門・相談機関の情報提供

### プログラムの実施体制

- )精神保健福祉の専門家チーム(精神科医、精神科看護師、精神保健福祉士、臨床心理士など)が実施主体になり、学校を外部からサポートする
- )大学生等のアシスタントが中心になり、生徒に近い目線でプログラムを実施する
- )学内のスクールカウンセラーや養護教諭と連携を取りながらプログラムを行う
- )精神保健福祉教育プログラムの終了後も専門家チームは継続的に関わる

付問1 貴校では、このような取り組みについてどれぐらい関心をお持ちですか。当てはまるもの1つに 印をつけてください。

- 1)とても関心がある    2)ある程度関心がある    3)あまり関心がない    4)まったく関心がない

付問2 このような取り組みは貴校のかける様々な心の健康の問題の解決にどのくらい役立つと思いますか。当てはまるもの1つに 印付けてください。

- 1)とても役にたつ    2)ある程度役に立つ    3)あまり役に立たない    4)特に役に立たない

付問3 上に示したプログラムで提供できるそれぞれのサービスについて伺います。  
貴校にとってどのぐらい必要であるか、当てはまるものそれぞれ1つに 印をつけてください。

大いに必要	ある程度必要	必要でない あまり	必要全くない
-------	--------	--------------	--------

生徒対象プログラム	大いに必要	ある程度必要	必要でない あまり	必要全くない
a)精神疾患について理解し、ストレスとの関係を学ぶ授業	1	2	3	4
b)心に不調を感じたときの対応法や専門・相談機関の活用方法について学ぶ授業	1	2	3	4
c)希望者が神経科クリニック等の専門・相談機関を訪問、見学取材を行い、後にクラスで共有する	1	2	3	4



(続き)	大いに必要	ある程度必要	あまり必要でない	全く必要でない
d) 精神疾患の体験者による講演(中学時代の体験、専門・相談機関への相談経験の話など)	1	2	3	4
e) 3年間のフォローアッププログラムを実施	1	2	3	4

保護者・教員対象プログラム				
A) 保護者を対象としたプログラム(年に1～2回の講演会・学習会など)	1	2	3	4
B) 教員を対象としたプログラム(年に1～2回の講演会・学習会など)	1	2	3	4



実施体制				
) 保健福祉の専門家チームが実施主体になり、学校を外部からサポートする	1	2	3	4
) 大学生等のアシスタントが中心になり、生徒に近い目線でプログラムを実施する	1	2	3	4
) 学内のスクールカウンセラーや養護教諭と連携を取りながらプログラムを行う	1	2	3	4
) 精神保健福祉教育プログラムの終了後も専門家チームは継続的に関わる	1	2	3	4

付問4 このような教育プログラムを貴校で実施する場合、どのような時間を使うと可能でしょうか。当てはまるものすべてに 印をつけてください。

1) 総合的な学習の時間	5) 集会・行事などの時間を利用して
2) 自由裁量の時間(ホームルームや学活)	6) 保健体育の時間
3) 道徳の時間	7) その他( )
4) 進路調整	8) いずれの時間も実施が難しい

付問5 このようなプログラムを貴校で実施する場合、どのようなご配慮が必要だと思われますか。当てはまるものすべてに 印をつけてください。

1) 専門のスタッフの派遣	7) 教材や資料・などの提供
2) 講師の派遣	8) 保護者・PTA からの協力・理解
3) 予備知識などを伝える教職員に対する研修	9) 時間数で負担にならないプログラムであること
4) 教育委員会からの了承	10) 実施時間の調整
5) 実行に必要な資金の提供・補助	11) 当てはまるものはない
6) フォロー体制の整備	12) その他( )

 最後に、貴校や貴校の位置する地域についてお伺いします。 

問7 貴校に在籍する生徒数や学級構成について、当てはまる数を下記の表にお知らせください。

	男子生徒数	女子生徒数	学級数
1学年	人	人	学級
2学年	人	人	学級
3学年	人	人	学級

問8 貴校の存在する地域は、どのような地域ですか。以下の中からもっとも近いもの1つに 印をおつけください。

1)住宅地域	2)商業地域	3)工業地域	4)農林漁業地	5)その他
--------	--------	--------	---------	-------

問9 貴校の存在する市町村の人口をお知らせください。

1)政令市	3)10万以上のその他の市	5)町
2)中核市	4)10万未満の市	6)村

問10 貴校における、こころの健康に関するスタッフの構成について、下記の表にご記入ください。また、スクールカウンセラーを設置している場合、昨年度の生徒の相談件数を教えて下さい。

1) 養護教諭	常勤	名 / 非常勤	名
2) 学校医	常勤	名 / 非常勤	名
3) スクールカウンセラー	常勤	名 / 非常勤	名
昨年度の生徒の相談件数	約	件	
4) スクールカウンセラー以外の専門的な資格を有する教員・職員	常勤	名 / 非常勤	名
5) その他	どのようなスタッフか具体的に、 ( )		

4) 専門的な資格とは「臨床心理士」「学校心理士」「精神保健福祉士」「日本カウンセリング学会認定カウンセラー」「日本進路指導学会認定キャリアカウンセラー」「日本学校教育相談学会認定学校カウンセラー」「スクールソーシャルワーカー」などを指します。

問11 現在、私ともは上記の教育プログラムを全国モデルに普及するための活動に取り組んでいます。貴校において、上記のプログラムの実施にご参加いただくことは可能でしょうか。以下のうち、貴校のお考えにもっとも近いもの1つに 印をつけてください。



1) 参加を希望する	3) 参加を希望しない
2) 関心があるので説明がほしい	4) 保留・わからない

問12 本調査に関するお問い合わせなどのために、調査票に記入された方の役職をお知らせください。

1) 校長	4) 生活指導主任
2) 副校長もしくは、校頭	5) スクールカウンセラー
3) 養護教諭	6) その他( )

問13 本調査の結果のご報告を希望するかどうか、お聞かせください。また、ご報告・ご連絡を希望される方はご氏名・ご連絡先をお知らせください。なお、ここで得られた情報は厳守するものとし、本調査の目的外に使用することは一切ございません。

1) 調査後の報告を (希望する ・ 希望しない) <u>該当するものに</u>
2) 担当者ご氏名 _____
3) ご連絡先 TEL: _____ FAX: _____
住所: 〒 _____
_____
Email: _____

 質問は終わりです。長い間ご協力ありがとうございました。

なお、今回の調査に関しまして、ご意見・ご感想などございましたら下の空欄にご記入ください。